

発行日 2/10/2019

改訂日 05/31/2023

改定番号 2

日本 / English

このSDSは、以下で特定されている供給者がUL SDSテンプレートを用いて作成したものです。ULは、このSDSに記載されている物質について、試験も、証明も、承認もしておらず、このSDSに記載されている全ての情報は供給者が提供したもの又は一般公開されている規制データ源から転載したものです。ULは、このSDSに記載されている情報の完全性に対しても、正確さに対しても、一切の表明も保証も行わず、さらにこの情報の使用に関しても、このSDSに記載されている物質の使用に関しても、一切の責任を否認します。このSDSのレイアウト、外観及び書式はUL LLCの著作物です。©2014 UL LLC. 著作権所有。

1. 化学品及び会社情報

製品特定名

製品名 gDNA, cfDNA, Formalin Compromised DNA

その他の識別手段

別名 情報なし

登録番号 HDXXX, HD-CXXXX

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 実験室専用

推奨されない用途 情報なし

安全データシートの供給者の詳細

供給者情報 Horizon Discovery Ltd.
Revvity, Inc.

住所 Building 8100 Cambridge Research Park
Waterbeach Cambridgeshire
CB25 9TL, United Kingdom

電話 Phone: +44 (0) 1223 976 000
Fax: +44 (0) 1223 655 581

メールアドレス technical@horizondiscovery.com

緊急連絡電話番号 Chemtrec International 81-345209637

緊急連絡電話番号

Chemtrec International +44-870-8200418

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

世界調和システム（GHS）による危険物質又は混合物でない

ラベル要素

危険有害性情報

世界調和システム（GHS）による危険物質又は混合物でない

注意書き—安全対策

該当しない

注意書き—応急措置

該当しない

注意書き - 保管

該当しない

注意書き - 廃棄

該当しない

結果として分類区分に該当しない他の

危険有害性

該当しない

3. 組成及び成分情報

化学物質

該当しない

混合物

危険有害性でない

世界調和システム（GHS）による危険物質又は混合物でない

| 化学名 | 重量% | 化審法 - 日本既存及び新規化学物質 | 安衛法番号 | CAS番号 |
|-----------|-----|--------------------|-------|-----------|
| Water | >99 | | | 7732-18-5 |
| Tris-EDTA | <1 | | | N/A |
| DNA | <1 | | | 9007-49-2 |

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)

該当しない。

労働安全衛生法

該当しない

毒物及び劇物取締法 該当しない

4. 応急措置

応急措置の説明

| | |
|---------------|---|
| 吸入 | 空気の新鮮な場所に移すこと。 |
| 眼接触 | 上下のまぶた（瞼）を持ち上げながら最低15分間多量の水でよく洗うこと。医師に相談すること。 |
| 皮膚接触 | 皮膚を石けん（鹼）と水で洗うこと。 |
| 経口 | 水で口をすすぎ、その後多量の水を飲むこと。 |
| 症状 | 情報なし。 |
| 医師に対する特別な注意事項 | 症状に応じて治療すること。 |

5. 火災時の措置

| | |
|------------------|--|
| 引火性特性 | 引火性でない。 |
| 適切な消火剤 | 現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。 |
| 大規模火災 | 警告：消火の効果が得られない場合には水噴霧を使用すること。 |
| 使ってはならない消火剤 | 高圧水で漏出物を散乱させないこと。 |
| 特有の危険有害性 | 情報なし。 |
| 危険有害性燃焼生成物 | 二酸化炭素。 |
| 特有の消火方法 | 水噴霧でチューブを冷却すること。 |
| 消火を行う者のための特別な保護具 | 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。個人用保護具を使用すること。 |

6. 漏出時の措置

| | |
|----------------------|-----------------------------------|
| 人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置 | 十分換気されているか確認すること。 |
| 緊急対応を行う者のための保護具 | 8項で推奨されている個人用保護具を着用すること。 |
| 環境に対する注意事項 | 環境影響情報の詳細情報については12項を参照のこと。 |
| 封じ込め方法 | 安全に対処できるならば、それ以上の漏えい（洩）又は漏出を防ぐこと。 |
| 浄化方法 | 回収して適切に表示された容器に移すこと。 |
| 二次危険有害性の予防 | 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。 |
| 参照すべき項 | 詳細は8項を参考する。詳細は13項を参照する。 |

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項 産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。

保管

安全な保管条件 容器を密閉して乾燥した涼しく換気の良い場所に保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度 この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく限界が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

生物学的職業性ばく露限界値 該当しない

技術的対策 シャワー
洗眼場
換気システム。

個人用保護具

眼／顔の保護具 特別な保護具は必要とされない。

皮膚及び身体の保護具 特別な保護具は必要とされない。

呼吸用保護具 通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、換気および排気が必要になる。

環境ばく露防止 情報なし。

9. 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

物理的状态 液体溶液

外観 該当しない
臭い データなし
色 情報なし
臭いのしきい値 該当しない

| 特性 | 値 | 備考 方法 |
|-------------|----------|-------|
| pH | データなし | 知見なし |
| 融点 / 凝固点 | 50-60° C | 知見なし |
| 沸点 / 沸点範囲 | データなし | 知見なし |
| 引火点 | データなし | 知見なし |
| 蒸発速度 | データなし | 知見なし |
| 燃焼性 (固体、気体) | データなし | 知見なし |
| 空気中での可燃限界 | | 知見なし |

| | |
|------|--------------------------|
| 眼接触 | この化学物質または混合物の特定試験データはない。 |
| 皮膚接触 | この化学物質または混合物の特定試験データはない。 |
| 経口 | この化学物質または混合物の特定試験データはない。 |
| 症状 | 情報なし。 |

毒性の数値尺度 - 製品情報

| | |
|---------|--------------------------------------|
| 未知の急性毒性 | 混合物の 100 %は毒性が未知の成分から成る。 |
| | 混合物の 99 %は急性経口毒性が未知の成分から成る |
| | 混合物の 99 %は急性経皮毒性が未知の成分から成る |
| | 混合物の 99 %は急性吸入毒性（ガス）が未知の成分から成る |
| | 混合物の 100 %は急性吸入毒性（蒸気）が未知の成分から成る |
| | 混合物の 100 %は急性吸入毒性（粉じん/ミスト）が未知の成分から成る |

毒性の数値尺度 - 成分情報

| 化学名 | 経口LD50 | 経皮LD50 | 吸入 LC50 |
|-----|--------|--------|---------|
| - | - | - | - |

短期的及び長期的ばく露による直後の影響と遅発性の影響及び慢性的影響

| | |
|----------------------|-------|
| 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 | 情報なし。 |
| 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 | 情報なし。 |
| 呼吸器感作性又は皮膚感作性 | 情報なし。 |
| 生殖細胞変異原性 | 情報なし。 |
| 発がん性 | 情報なし。 |
| 特定標的臓器毒性 - 単回ばく露 | 情報なし。 |
| 特定標的臓器毒性 - 反復ばく露 | 情報なし。 |
| Target organ effects | 呼吸器系。 |
| 吸引性呼吸器有害性 | 情報なし。 |

12. 環境影響情報生態毒性

生態毒性

| 化学名 | Algae/aquatic plants | 魚類 | Toxicity to | Crustacea |
|-----|----------------------|----|-------------|-----------|
|-----|----------------------|----|-------------|-----------|

| | | | | |
|---|---|---|----------------|---|
| | | | microorganisms | |
| - | - | - | - | - |

残留性・分解性 情報なし。

生体蓄積性 情報なし。

成分情報

| 化学名 | 分配係数 |
|-----|------|
| - | - |

土壤中の移動性 情報なし。

移動性 情報なし。

他の有害影響 情報なし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

14. 輸送上の注意

IMDG/IMO
危険有害性クラス 規制対象外
N/A

ADR 規制対象外

IATA
正式輸送品目名 規制対象外
危険有害性クラス GMMO, Carbon Dioxide, Solid
9

日本
危険有害性クラス N/A

15. 適用法令

該当製品に特有な安全、健康及び環境に関する規制

国内規制

日本

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)
該当しない

労働安全衛生法 該当しない

消防法：

該当しない

化学物質の審査及び製造棟の規制に関する法律（化審法）

該当しない

大気汚染防止法

大気汚染防止法第3条に排出基準が規定されている大気汚染物質

大気汚染防止法第2条、第4段落で定める揮発性有機化合物

国際規制

オゾン層を減少させる物質に関するモントリオール議定書 該当しない

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

国際インベントリー

TSCA

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

DSL/NDL

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

EINECS/ELINCS

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

化審法

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

KECL

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

PICCS

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

AICS

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

凡例

TSCA - 米国有害物質規制法セクション8(b)、インベントリー

DSL/NDL - カナダ国内物質リスト/非国内物質リスト

EINECS/ELINCS - 欧州既存商業化学物質インベントリー/欧州新規届出商業用化学物質リスト

ENCS - 化審法既存物質

KECL - 韓国既存化学物質目録

PICCS - フィリピン化学品・化学物質インベントリー

AICS - オーストラリア化学物質インベントリー

16. その他の情報

作成者

Horizon Discovery Ltd.
Revvity, Inc.

8100 Cambridge Research Park
Waterbeach, Cambridgeshire
CB25 9TL, United Kingdom
+44 (0) 1223 976 000

改訂日

05/31/2023

改訂記録

情報なし

安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例**項目8：ばく露防止及び保護措置**

| TWA | TWA（時間加重平均） | STEL | STEL（短時間暴露限度） |
|-----|-------------|------|---------------|
| 天井値 | 最大限界値 | - | 皮膚兆候 |
| C | 発がん物質 | | |

免責事項

このSDSは、JIS Z 7250:2010およびJIS Z 7252:2009（日本）の要件に準拠している。この安全データシートに記載されている内容は、発行日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、または何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシートのおわり